

普及活動情勢報告（令和 8 年 3 月分）

中央西農業振興センター農業改良普及課

令和 7 年度の普及活動実績について意見交換しました ～ 令和 7 年度第 2 回中央西地区農業改良普及推進協議会 ～



2 月 25 日、中央西農業振興センターにおいて、生産者代表及び関係機関等から 12 名の委員に出席いただき、第 2 回中央西地区農業改良普及推進協議会を開催しました。

農業改良普及課から令和 7 年度普及指導活動実績と令和 8 年度普及指導計画の内容について説明し、その後、意見交換を行いました。

委員からは「環境データを活用することにより反収が上がっている」、「ユズの管理作業の省力化や品質の向上を図りながら後継者の確保につなげたい」、「スマート農業を進めることによって若い農業者の活躍につながる」等の意見が出されました。

農業改良普及課は、委員からいただいた意見を今後の普及活動に反映し、地域や農業の課題解決に取り組みます。

就農のきっかけをつくる体験会の開催

～いの町農業公社ユズ剪定体験会～



2 月 27 日、いの町農業公社において、町内外の方に農業への興味を持ってもらい、就農へのきっかけづくりするためのユズの剪定体験会が行われ 21 名の参加がありました。

農業改良普及課は、剪定の必要性や樹形の整え方などについて実演しながら講習しました。その後、参加者各自で剪定作業を行いました。最初は戸惑う参加者も見られましたが、作業をしていくにつれ、上手く剪定を行えている様子でした。

参加者からは「今までよく分からず剪定していたが、正しい剪定の方法を学べて良かった」、「このような体験会があれば次回も参加したい」との声が聞かれました。

農業改良普及課は今後も、体験会の開催など新規就農者確保に向けた活動を支援していきます。

環境変動に対応していくために

～視察研修を開催～



3 月 11 日、土佐市支所ニラ部会員 4 人が黒潮町のニラ農家と農業担い手育成センターを視察しました。

黒潮町のニラ農家からは、日射比例を活用した遮光カーテンの使用方法について、担い手育成センターではハウス両サイドから行う頭上灌水方法について説明を受け、農業改良普及課からは B S 資材の紹介を行いました。

参加者からは、夏場の高温は今後も続くので、取り組めることから実施していきたいといった前向きな意見が聞かれ、生産安定に向けての意欲を高めることができました。

農業改良普及課は来年度も、J A と高温対策に関する試験を実施し、環境変動に対応した栽培方法の構築に寄与していきます。

理想の樹形をイメージして整枝剪定
～ J A 高知県コスモス柚子部会剪定講習会～



3月11日、J A 高知県コスモス柚子部会がいの町吾北地区で剪定講習会を開催し、生産者19名が参加しました。

農業改良普及課は、整枝剪定するうえでは「自分が目指す理想型をイメージし、それに近づけること」が最も重要であることを説明し、具体的に解説しながら実演しました。

生産者からは「よく分かった」、「面白かった」といった声上がり、非常に活気のある講習会となりました。

農業改良普及課では、これからも地域の生産者の皆さんに寄り添い、技術の向上をサポートしていきます。